

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1297
施設名	大島なかよし保育園
施設所在地	江東区大島3-15-10
法人名	社会福祉法人 悠晴

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然
「しいたけ・ヒヤシンス栽培」

<テーマの設定理由>

食育活動に力を入れ、各年齢にあった食育計画を柱とした保育を展開し、様々な活動や体験を通して身体も心も育む基本理念のもと「自然」というテーマに沿った取り組みを行い、子どもたちの身近にある植物に触れ、興味・関心を引き出していく。
子どもたちの苦手な食材にスポットをあて身近な食材として育てる体験を行う。
生長過程を観察し収穫を楽しむにする。

2. 活動スケジュール

○しいたけ栽培（1回目：5/29～6/3、2回目：6/11～成長見られず終了）
○ヒヤシンス栽培（1/28～3/10頃まで）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

○しいたけ栽培：給食体験 「しいたけ」（給食用食材観察）
「絵本」 「しいたけ栽培キット」 霧吹きスプレー ビニールシート
○ヒヤシンス栽培：ヒヤシンス球根 水栽培用鉢
室内掲示物（栽培方法、ヒヤシンスの説明）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- しいたけ栽培：給食での食べる体験を行い、「しいたけ」という食材を伝える。
「絵本」で「しいたけ」について更に関心を持てるようにした。
水やりを行い、一人ひとりが育てる体験を行う。
保育者と一緒に観察し生長の変化に気づけるようにする。
保育者と一緒に収穫を行う。しいたけを調理してもらい食べる。
しいたけの製作活動を行う。
- ヒヤシンス栽培：球根を観察する。水耕栽培を行い、球根から根が出てくる様子を観察する。芽がでたり茎が伸びる様子を観察する。花の蕾や開花を楽しみに待つ。花の開花を喜び花の色・形に関心を持ち香りに気づく。
室内にヒヤシンスについての掲示と栽培方法についての掲示を行う。
栽培方法の掲示の中につぼみが出た日、開花した日、などを書き込み保護者とも生長を喜び合うようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

生長の変化に気づき喜ぶ姿があった。
給食メニューの中からしいたけを見つけ喜ぶ。苦手な子どもも食べていた。
きのこの食材に関心を持ち、他のきのこにも興味を示していた。
「きのこ」の歌を楽しんで歌っていた。
ヒヤシンス栽培では蕾や開花を楽しみにする姿があり、送迎時に保護者との会話の中でも花や植物の話を楽しんでいた。
開花の際には花の匂いに気づき、「いいにおい」「へんなにおい」と子どもによって様々な感じ方をしている姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

植物への興味が広がり戸外活動や散歩でみかける花に興味を持ち、探索する姿があった。
身近な環境で育てたことにより日々の変化に気づき次の日の期待感やどうなるかといったわくわくする気持ちで活動に参加していた。
自分たちで育てた意識を持ち、食材を食べてみようとする意欲にもつながった。
水やりを行い世話をすることで、心の成長を感じることができた。
ヒヤシンス栽培では生長の変化が良くわかり色彩や香りも感じることもできた。
栽培を通して、子どもと保護者のやり取りも増えたように感じる。日々の会話の中で一緒に生長を楽しみにしてもらっていた。